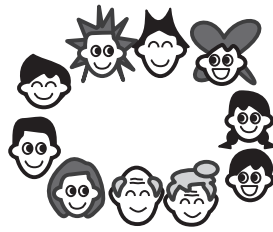


津谷歯科医院 口腔ケア新聞

NPO法人
訪問歯科診療
を広める会
賛助会員



令和2年8月号

発行人 津谷歯科医院

院長 津谷良

住所 岡山市中区海吉1807-14

紙面に関するお問い合わせは下記まで

電話：0120-779-418

配信代行：訪問歯科診療を広める会

皆さん、こんにちは！いかがお過ごしですか？

津谷歯科医院、院長の津谷良です。

新型コロナに感染すると80%の方は無症状・軽症で経過し、糖尿病や高血圧等の基礎疾患のある方を中心に20%が重症化することがわかっています。鶴見大学歯学部の花田教授によると、重症化するのは新型コロナ感染をきっかけとした一次性ウイルス性肺炎の後に続発する口腔内細菌や肺炎球菌を原因とする二次性細菌性肺炎の発症と、サイトカインストーム(免疫の暴走)によって正常な肺細胞を破壊したり血栓症等の血管病変を発症する場合で、どちらも口腔内細菌と歯周病菌が大きく関与している可能性があるという報告があります。前号では二次性細菌性肺炎について触れましたので、今回は『歯周病菌とサイトカイン』について書きたいと思います。

■ LPSがサイトカインの分泌を誘発する

ある種類の細菌は外膜にLPS(内毒素)という毒性物質を持っています。LPSが人の血中に入ると人体では発熱が起こり外敵から身を守ろうとして炎症性のサイトカインという物質を分泌し、これに反応する形で免疫に関わる細胞が活発に働き出します。本来、このサイトカインは外敵を攻撃して健康な身体に戻す働きをしているのですが、過剰産生されるとサイトカインストームという免疫が暴走した状態となり、自身の正常な細胞を攻撃したり血管を詰まらせる血栓症を引き起こすことがあります。今、このサイトカインストームが新型コロナ感染症の重症化要因の一つではないかと考えられています。

■ 歯周病菌はLPSを持つ細菌である

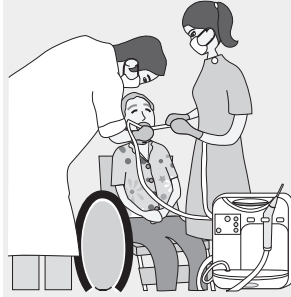
普段私たちは食事の時にLPSを持つ細菌と一緒に飲み込んでいますが、サイトカインストームは起こりませ。それは腸のバリアで血中に入らないようにして、仮に少量のLPSが入っても肝臓で分解・無毒化して、血中にLPSがない状態を保っているからです。ところが、私たちの口の中にいる歯周病菌は

LPSを持つ細菌です。歯周病菌の場合、腫れた歯ぐきから容易に血管内に侵入し、心臓→肺→全身をまわります。そして血中では、一部のサイトカインの分泌を促進して糖尿病を悪化させたり血栓症リスクが高くなることが知られています。事実、歯周病の人はそうでない人の2.8倍も脳梗塞になりやすいというデータがあります。肝臓で分解される前に、血液に乗って肺の組織に入り込みむことができる歯周病菌のLPSが新型コロナウイルスによるサイトカインストームにも関与する可能性は十分に考えられます。

■ 第2波の前に口腔内細菌と歯周病菌対策を！

毎日丁寧に歯を磨いてるつもりでも、1~2割の汚れは磨き残して、口腔内の細菌は徐々に増えていきます。口腔内細菌は誤嚥性肺炎を引き起こし、歯周病菌は血中に侵入すると全身に悪影響を及ぼします。新型コロナウイルスの第2波に備えて、口腔内細菌量を減らすための歯周病治療や歯科衛生士による専門的なクリーニングをぜひ受けてください。当院は、感染防止対策の基準を満たした医療機関です。どうぞ安心して受診してください。

当院は、厚労省の定める歯科における院内感染防止対策の基準を満たした医療機関です。訪問歯科診療においても同様



に感染防止対策を徹底しています。安心して受診してください。

◆ 肺炎の重症化予防のため口腔ケアを受けて口腔内の細菌量を減らしましょう！ ◆

口腔ケア新聞の発行にあたって



ここ数年、外来患者さんやそのご家族から訪問診療のお問い合わせやご依頼を受けるケースがとて増えました。小さなご病気されてしまったことがキッカケで、寝たきりになってしまわれたりして、「いつもお元気でいいですね」と話をしていただけなのに…。そんなことが続いたので、これは本格的に訪問診療に取り組まなければいけないかなって、強く思うようになりました。

そこで取り組みの一環として、要介護者の歯と口に関する情報を地域の介護に携わっている方にお届けしようと考え、口腔ケア新聞を毎月1回発行しています。

津谷歯科医院

診療時間 9:00~12:30/14:00~18:30
(土曜日は16:30まで)

診療科目 歯科 小児歯科

休診日 木曜・日曜・祝祭日

院長 津谷良

岡山市中区海吉1807-14

☎ 0120-779-418 FAX 0120-779-413